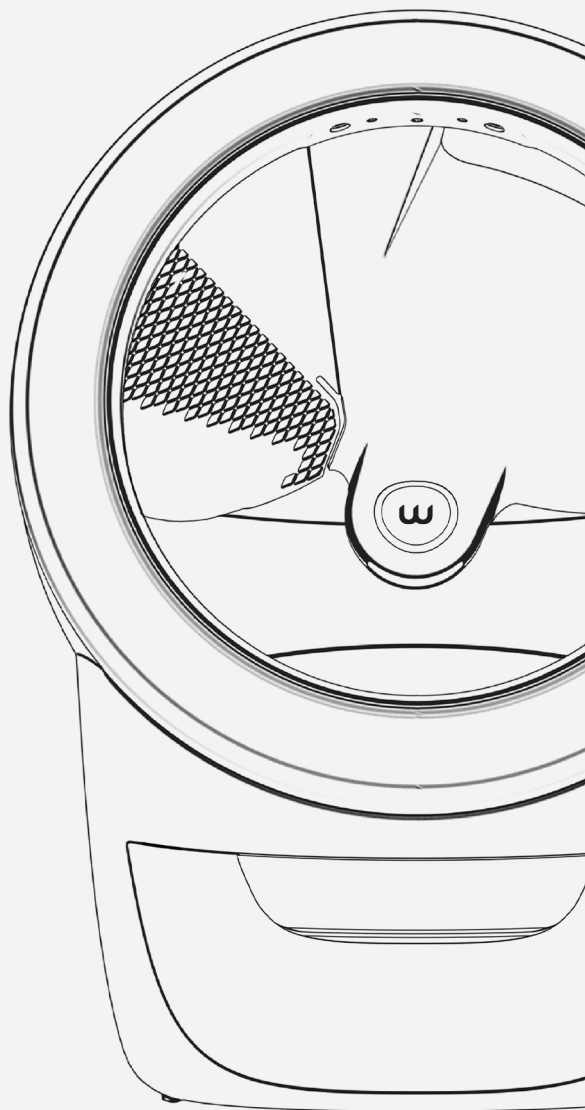


litter·robot® 4

by whisker



取扱説明書

Whisker.com

Whisker製品のご購入ありがとうございます!

本取扱説明書は、お客様がLitter-Robotを最大限にご活用いただくためのものです。最初に、セットアップの順序をご説明します。そして、お客様の猫が新しいLitter-Robotに慣れるための有用なヒントとアドバイスをご提供いたします。

Whisker社のミッションは、ペットと飼い主様の生活を最良のものにすることです。ペットテックと洗練されたペット用品のリーディングイノベーターとして、当社はペットの生活をより豊かにし、ペットに関する課題を解決し、飼い主様に役立つ情報をお届けするため、たゆまぬ努力を続けております。

Litter-Robotが実現するペットとのより良い生活をお楽しみください。



ジェイコブ
代表取締役社長兼CEO



ブラッド
創業者兼チーフインベーター



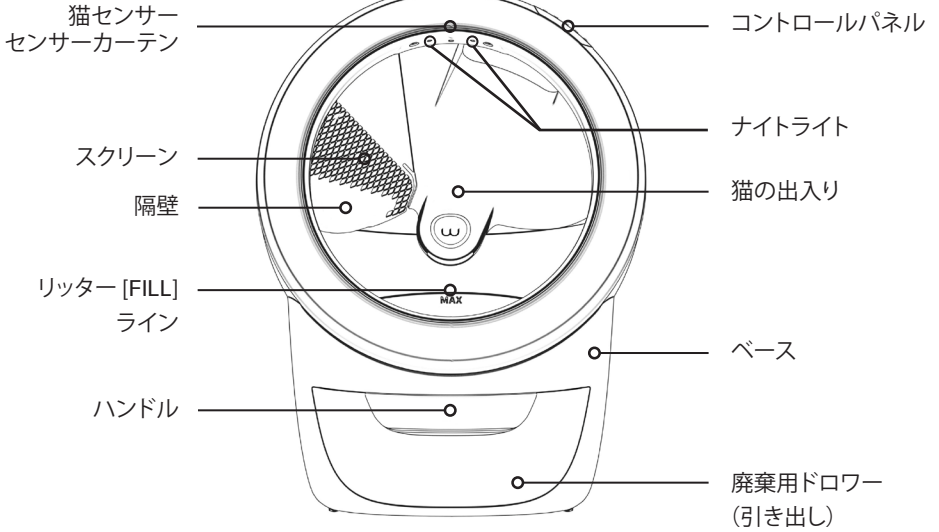
安全に関する重要な説明

- **必須:** Litter-Robotを使用する可能性があるペットは、いずれも体重1.36 kg以上である必要があります。自動モードでLitter-Robotを安全に使用するには、猫は最低1.36 kg以上の体重である必要があります。
- **必須:** しっかりとした平らな床の上に設置してください。やわらかい床、平らでない床、不安定な床は避けてください。本機が猫を検知する能力に影響する可能性があります。リッターマットまたはラグを使用する場合、本機の前または真下に設置してください。マットをユニットの真下に部分的に配置することは避けてください。ラグやマットは毛足が6mm以下のものをお使いください。
- **必須:** メンテナンスを行う際は、事前に本機のプラグを抜いてください。
- **禁止:** ペットに対してLitter-Robotに入るよう強制しないでください。
- **禁止:** 凝集タイプ・ビーズタイプ・クリスタルタイプのリッター以外の、スクリーンを通過するほど小さい物体を本機に入れしないでください。
- **禁止:** Litter-Robotの上に物を置いたり、座ったりしないでください。
- **禁止:** Litter-Robotを壁や部屋のすみに接触させないでください（重量測定を正確に行うため、壁に接触しないようにする必要があります）。
- **禁止:** ボンネットとベースは濡らしたり水没させないでください。
- **禁止:** お子様や身体的、感覚的、精神的に能力が低下した人、および経験や知識を持たない人に、安全な使用に関する指示および使用に伴う危険の理解がないまま、Litter-Robotの使用、清掃、保守を行わせないでください。8歳以下のお子様は、Litter-Robotに触らせないでください。
- **禁止:** お子様または他の人にLitter-Robotで遊ばせないようにしてください。
- **禁止:** 本機の付属品として提供された以外の外部電源を使用しないでください。
- 外部電源が故障した場合は、交換のために弊社にご連絡ください。
- **禁止:** Litter-Robot本体は絶対に改造しないでください。改造された場合、安全機能に重大な影響を及ぼし、保証が無効になります。

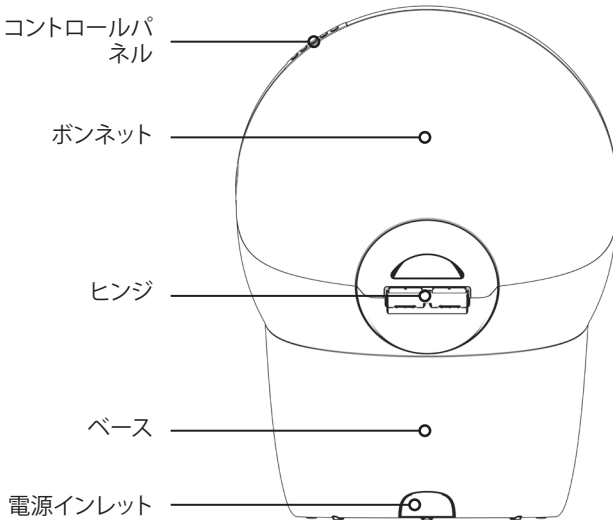
目次

安全に関する重要な説明.....	5
コンポーネントおよび寸法.....	8
Litter-Robotのセットアップ.....	12
猫をLitter-Robotに慣れさせる.....	14
継続的メンテナンス.....	15
サイクル.....	16
コントロールパネル - 各ボタンの機能.....	18
Power (パワー) ボタン.....	18
Cycle (サイクル) ボタン.....	18
Reset (リセット) ボタン.....	19
Empty (エンプティ) ボタン.....	19
Connect (コネクト) ボタン.....	19
コントロールパネル - ライトバー.....	20
センサーと機能.....	21
猫の検知.....	22
ドローワー [FULL] インジケーター.....	22
リッターレベル.....	23
自動ナイトライト.....	23
Sleep (スリープ) モード.....	24
待機時間の設定.....	24
コントロールパネルのロック.....	25
Whiskerアプリ.....	26
安全機能.....	27
ご使用とお手入れ.....	29
よくある質問.....	34
家庭内でのご試用.....	37
カスタマーエクスペリエンスへのお問い合わせ.....	37

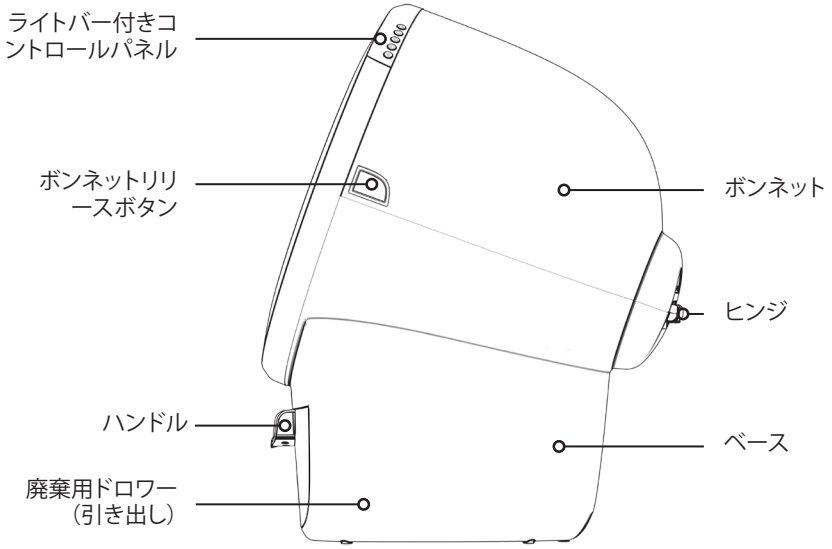
コンポーネント



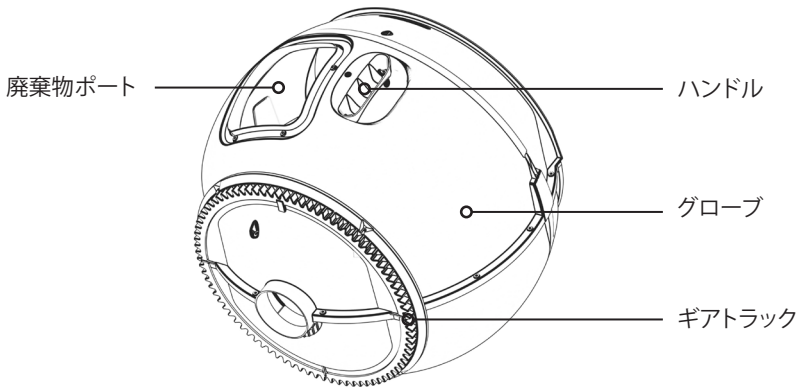
正面図



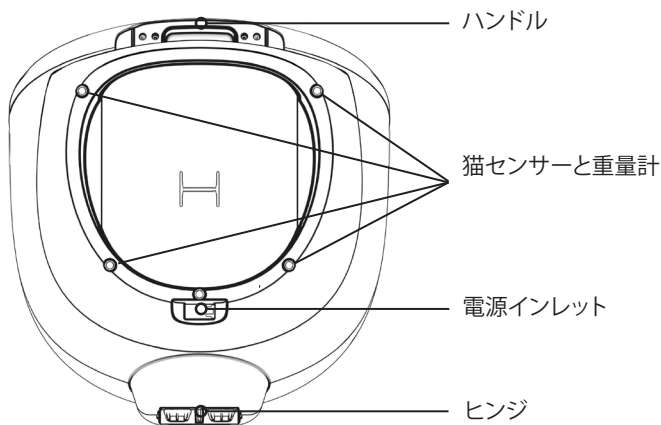
背面図



横断面図



グローブ

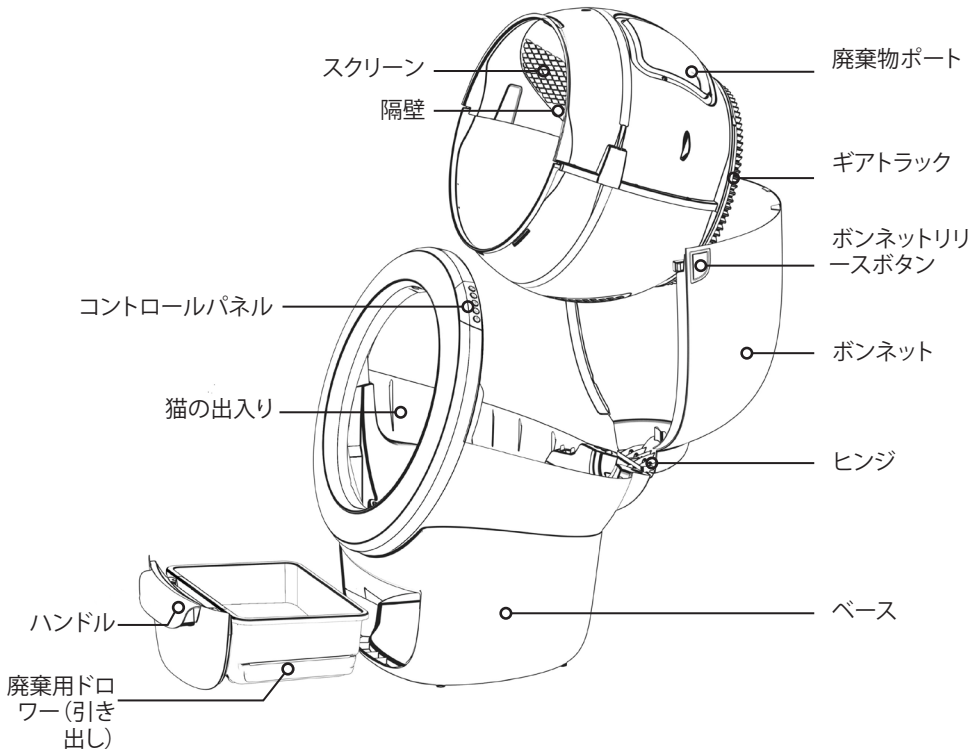


底面図

寸法

	高さ	幅	x	奥行き	重量
組立て済み	75 cm	x 56 cm	x	68.6 cm	10.9 kg
廃棄用ドロワー (引き出し)	14 cm	x 34.3 cm	x	23.5 cm	
入り口	40 cm	x 40 cm			
グローブの内部	40~43cm リッターの量に応じて異なります	x 48.3 cm	x	45.7 cm	
リッターベッド		35.5 cm	x	35.5 cm	
床からのステップ (オプション)	17.5 cm				
入り口へのステップ (オプション)	11.4 cm				
床から入り口	30.5 cm				

メモ: 画像は、廃棄用ドロワーに標準的なハンドルが付いた状態です。オプションのステップとステップマットを使用することで、ペットがより簡単にLitter-Robotに入ることができます。



分解図

Litter-Robotのセットアップ

本製品 (Litter-Robot) は組立て済みです。すぐに使用可能な状態でお届けします。以下の各ステップに従って使用を開始してください。

設置

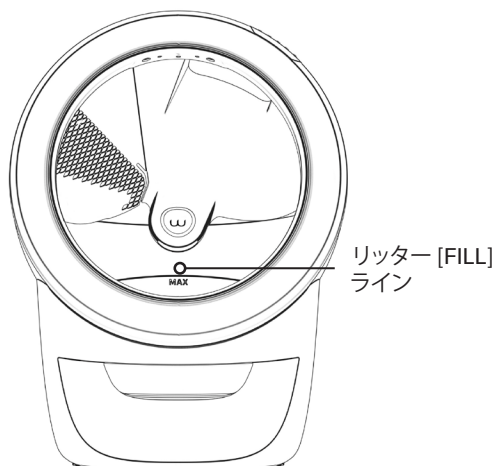
- ❑ できれば、これまで使用していた猫用トイレと同じ場所にLitter-Robotを設置してください (少なくとも移行期間中)。
- ❑ しっかりとした平らな床の上に設置してください。やわらかい床、平らでない床、不安定な床は避けてください。
- ❑ 本機は、屋内の湿気の少なく、直射日光の当たらない場所で使用するようにしてください。一時的にでも高温多湿への場所に置くことは、できる限り避けてください。可能な限り、直射日光を避けてください。
- ❑ 本機はコンセントの近くに配置してください。本機を壁や部屋のすみに接触させないでください。
- ❑ リッターマットとラグは、本機の前または真下に配置してください。マットをユニットの真下に部分的に配置することは避けてください。本機の下には毛足が6mm以下のラグやマットを敷いてください。

吸収性の強いリッター、非凝集性リッター、凝集性の弱いリッター、新聞紙ベースのリッター、吸収性の木質ペレットリッターは、使用しないでください。

リッター

グローブの円形の開口部から、**凝集性リッター**を平らに広げた状態でMAX [Fill] ラインを満たすまで入れます (重量で約3.6~4.5kg、容量で4L)。グローブにリッターを入れすぎないように注意してください。

Litter-Robotの「リッターふるいシステム」が正常に機能するには、凝集性リッターでなければなりません。高品質のクレイ凝集性リッターの使用を推奨いたします。スクリーンを通過する大きさのビーズタイプおよびクリスタルタイプのリッターも使用可能です (これらのタイプのリッターは定期的な交換が必要です)。



以上で挙げられていないタイプのリッターを使用している場合は、互換性があるかを確認するため、カスタマーサービスまでご連絡ください。

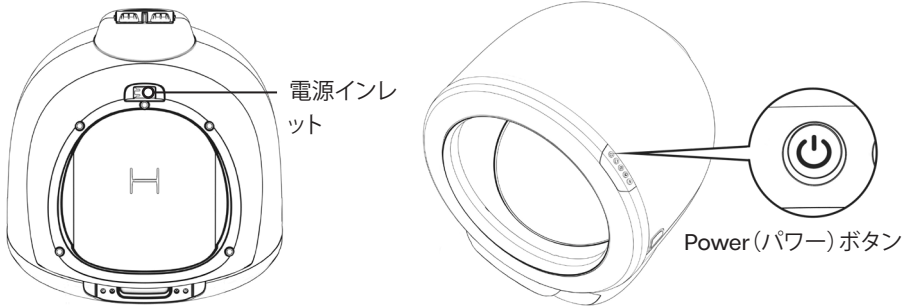
ヒント: Litter-Robotを初めてお使いになる際は、これまで使用されていたリッターと同じブランドを使用することをおすすめします。凝集タイプのみ可—あなたの猫は新しいトイレに慣れる必要があります。トイレの変更と同時に、リッターのタイプも変更すると、猫の不安が増すおそれがあります。ただし、現在、非凝集タイプのリッターを使用している場合、凝集タイプのリッターに変更する必要があります。

電源および初期のクリーンサイクル

パワーサプライの小さい方の端を、ベース背面の電源入力に差し込みます。次にAC/DCアダプターを壁のコンセントに差し込みます。

Powerボタンを押してください。Litter-Robotは初期のクリーンサイクルを実行します。約2分間を要します。16ページに、クリーンサイクルについての詳細が書かれています。

メモ: 猫用のセンサー重量計は、グローブがHomeポジションに戻ると、重量センサーがゼロになるよう、電源投入後最初のクリーンサイクルで無効化されます。



おめでとうございます!

Litter-Robotを使用する準備ができました。猫が慣れてきてLitter-Robotを使い始めるまでは、ユニットの電源をオフにしておくことをおすすめします。

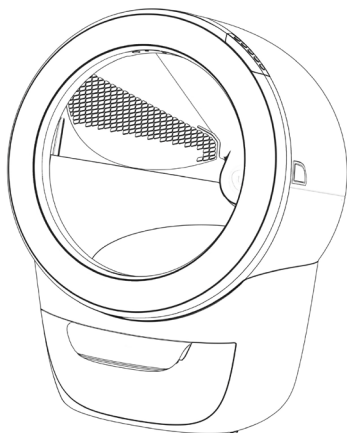
猫にLitter-Robotを使ってもらう

通常、ペットはすぐにLitter-Robotに慣れることでしょう。トイレの変更を促すために、以下の方法を試してみてください。

1. Litter-Robotを以前の猫用トイレと同じ場所に配置し(グローブにリッターを入れてから)、電源がオフになっていることを確認してください。猫に、Litter-Robotに慣れるための時間を1～2日に与えてください。猫が関心を示さない場合、キャットニップやその他の猫の好物を使って、Litter-Robotの近くに誘導してください。
2. 猫になじみのあるにおいを感じさせるため、以前の猫用トイレからリッターをひとすくい入れます。
3. Litter-Robotの近くまたはステップに猫の好物を置きます。猫が本機とごほうびを関連付けて考えるようにします。
4. 猫がLitter-Robotを使い始めたら、ユニットの電源をオンにして、本機のサイクルを作動させてください。猫がLitter-Robotの動きを観察し、Litter-Robotの音に慣れてもらうため、そばにるように仕向けてください。あなたも一緒にいて、猫を安心させてあげてください。サイクルが完了次第、本機の電源をオフにします(Litter-RobotはHomeポジションのまま)。猫がLitter-Robotを使用し始めたら、古い猫用トイレは清掃しないことをおすすめします。
5. 数日経っても猫がLitter-Robotを使用しない場合、以前の猫用トイレで以前と同じブランドのリッターを使用し、できる限り長い間清掃せずに放置してください。猫はきれいに保たれたトイレを好みます。古いトイレの汚れを理由に、新しいLitter-Robotを使用し始めるかもしれません。Litter-Robot内のリッターを、トイレトレーニング用に配合された特別なリッターと入れ替えることも検討してみてください。

猫がLitter-Robotを使用する習慣がついたら、ユニットの電源をオンにしたまま自動モードで稼働させてください。古い猫用トイレは撤去して構いません。

おめでとうございます。ぜひ、Litter-Robotのある新しい生活をお楽しみください。トイレ周りを簡単かつきれいに保てます。

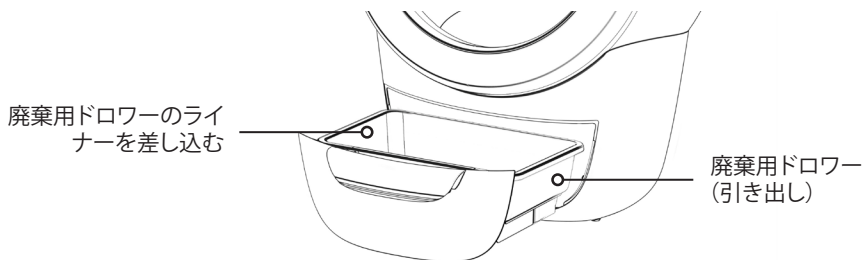


日々のメンテナンス

コントロールパネルのライトバーが青く点滅したら、**廃棄用ドロワーを空にしてください**。コントロールパネルのライトバーが青く点滅していることを確認します。廃棄用ドロワーを空にする頻度は、猫の数と大きさにより異なります。平均サイズの猫2匹の場合、週2回が一般的です。猫1匹の場合、通常は週1回で十分です。

廃棄用ドロワーを引き出し、ライナーバッグの閉じ、廃棄します。「Litter-Robot custom-fit Waste Drawer Liners」または「37~49Lのゴミ袋」を使用することができます。

新しい廃棄用ドロワーのライナーを取り付けるには、袋を開け、開口部を廃棄用ドロワーのフランジの周囲に取り付けます。袋の残りの部分を廃棄用ドロワーの底に押し込みます。本機を壁や部屋のすみに接触させないように注意しながら、廃棄用ドロワーを元の位置に戻してください。その後、Resetボタンを押し、重量センサーをゼロに戻します。



必要に応じてリッターを追加してください。

週に一回、または毎回、廃棄用ドロワーを空にする際にリッターの高さを確認してください。グローブ内の [FILL] ラインちょうどまでリッターを追加します。追加しすぎないように注意してください。リッターを追加または除去した後、Resetボタンを押し、猫センサーをリセットします。

Resetボタンを押してください。

本機の重量または配置を変える際（廃棄用ドロワーを空にする際、リッターの追加または除去、本機の清掃または移動を含む）は必ず、Resetボタンを押し、重量センサーが猫およびサイクルを適切に検知することを確認してください。

カーボンフィルター、ベースのシールストリップ、廃棄用ドロワーシートおよびLitter-Robotの清掃方法については、**29ページの『使用とケア』を参照してください。**

クリーンサイクル

猫がグローブを離れた後、Litter-Robotは自動でクリーンサイクルを実施します。特許取得済みの「ふるいシステム」が、塊となった排泄物をリッターから分離して、下の廃棄用ドロワーに落とします。クリーンサイクルが完了するのに2分かかります。サイクルボタンを押すとクリーンサイクルが始まります。

クリーンサイクル中、いずれかのボタンを押してサイクルを停止することもできます。サイクルを再開するには、Cycleボタンを押してください。サイクルを中止してグローブをHomeポジションに戻すには、ResetまたはEmptyボタンを押します。

本機のしくみ:

グローブがHomeポジションにあり、コントロールパネル上のブルーライトがオンのとき、Litter-Robotは使用可能な状態になっています。

1. 猫がグローブに入ると、猫センサーが作動し、青色のライトバーが赤色に変化します。
2. 猫がグローブから出ると、クリーンサイクルへのカウントダウンが開始します。待機時間 (24 ページ参照) が経過すると、赤色のライトバーが黄色のライトバーに変わり、クリーンサイクルが反時計回りに回転することで表示します。
3. 反時計回りに回転することで、排泄物の塊はダストスクリーンを通過し、リッターから分離されます。排泄物の塊は、隔壁の後ろに集められます。
4. 回転中、グローブが逆さになった状態で、フレキシブルグローブライナーの底にある錘により、ライナーがグローブから離れ、内部に付着した塊も確実に取り除かれます。
5. グローブがDump (ダンプ) ポジションへと回転した後、廃棄すべき塊は、廃棄用ドロワーの廃棄物ポート経由で落下します。
6. その後、グローブはDumpの位置で停止し、時計回りに回転してHomeの位置に戻り始めます。フレキシブルグローブライナーは元の位置に戻り、排泄物の塊はグローブの底に落ちます。
7. グローブはリッターを平らにするため、Homeポジションを越えるまで回転し、最終的にHomeポジションに戻ります。黄色のライトバーから青色のライトバーに変わり、次の使用への準備が整ったことを表示します。

待機時間のカウントダウン中 (レッドライトがオンのとき) に再び猫がグローブに入ると、猫センサーはその重みを検知して、猫が中にいる間はサイクルを実施しません (21ページを参照)。猫が外に出ると、カウントダウンが再開します。

Emptyサイクル

Emptyサイクルでは、グローブから全てのリッターを廃棄用ドロワーへと落とすことで、簡単に廃棄することができます。このサイクルは、すべてのリッターを交換するとき、またはグローブを清掃する前に使用します(31ページ参照)。

グローブがHomeポジションにあり、青いライトバーが点灯しているときに、Emptyボタンを押すとEmptyサイクルが開始されます。

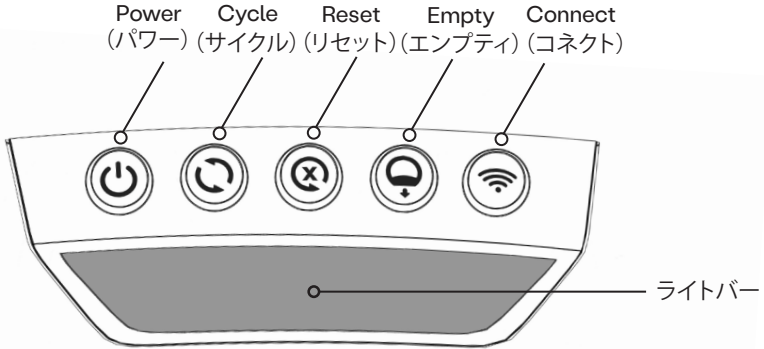
Emptyサイクル中に、Cycle、Reset、Empty、Connectのいずれかのボタンを押すと、サイクルが一時的に停止されます。サイクルを再開するには、Cycleボタンを押してください。サイクルを中止してグローブをHomeポジションに戻すには、Resetボタンを押します。

本機のしくみ:

1. Emptyボタンを押すと、グローブは時計回りに回転し、回転方向を示す黄色のライトバーが順次点灯します。
2. グローブが回転するにつれ、リッターは廃棄物ポートを經由して廃棄用ドロワーへ落下します。
3. リッターが空になると、黄色のライトが点灯するとともにグローブは停止し、あなたの指示を待つ状態になります。(廃棄物ポートへ向かって、残ったリッターを掃き出す必要があるかもしれません)
4. グローブをHomeポジションに戻すには、CycleまたはResetボタンを押してください。

重要事項—Emptyサイクル中に、猫が入らないように監視してください。

コントロールパネルー各ボタンの機能



Power (パワー) ボタン

Powerボタンを押して、電源をONまたはOFFにします。電源を入れると、ライトバーが白色に点滅し、その後、回転方向を示す黄色のライトバーが順次点滅して、クリーンサイクルを実行します。

電源を入れた状態で、Powerボタンを3秒以上長押しすると、電源が切れます。



Cycleボタン+[8時間スリープモード]

Cycleボタンを押すと、クリーンサイクルが始まります (16ページ参照)。もう一度Cycleボタンを押すと、サイクルが一時停止または再開されます。

3秒間長押しすると、デフォルトの8時間スリープモードが起動します (24 ページ参照)。ライトバーが紫色に変わり、8時間スリープモードが有効になったことが表示されます。このモードを終了するには、Cycleボタンを3秒間長押ししてください。ライトバーが青色に変わり、モードが無効化されたことが表示されます。



Reset + (自動ナイトライト)

グローブがHomeポジションにあり、青いライトバーが点灯しているときにResetボタンを押すと、猫センサーがリセットされます。サイクル中にボタンを押すと、サイクルが一時停止されます。一時停止中に再度ボタンが押された場合、サイクルは中止されます。赤いライトバーが点灯しているときに押すと、猫センサーの待機時間がリセットされ、Readyモード(青色のライトバーが点灯)に戻ります。

3秒間の長押しで、自動ナイトライトモード(23ページ参照)の有効/無効を設定できます。



Emptyボタン+[待機時間の設定]

グローブがHomeポジションにあり、青色のライトバーが点灯しているときにEmptyボタンを押すと、Emptyサイクルが開始されます(17ページ参照)。クリーンサイクルまたはエンプティサイクル中にボタンを押すと、サイクルが一時停止されます。一時停止中にEmptyボタンを押すと、サイクルが中断され、グローブはHomeポジションに戻ります。

3秒間の長押しで、待機時間設定モード(24ページ参照)の有効/無効を切り替えます。



Connect (コネクト) ボタン

Connectボタンを押すと、WiFiをONまたはOFFにできます。

1. WiFi OFFは、Connectボタンの隣りにある白いランプで表示されます。
2. WiFi ONで接続中は、Connectボタンの隣にある青色のランプが点滅して表示されます。
3. WiFiがオンで接続されている場合は、Connectボタンに隣接している青色のライトが点灯し、青色のライトバーがすべて点灯することで表示されます。

3秒間の長押しでオンボーディングモードになり、Connectボタンの隣りにある黄色のランプが点滅して表示されます。押してから離すと、オンボーディングモードが終了します。

コントロールパネル-ライトバー

青色のライトバーレディモード

青色のライトバーが点滅: 廃棄用ドロワーが [Full] です (22 ページ参照)。

WiFiライトの状態: (26ページ参照)

- 青色WiFiが接続中です。
- 白色WiFiがオフになっています。
- 青色に点滅します。WiFiが切断/再接続される。
- 黄色に点滅します。本機はオンボーディングモードです。

黄色のライトバー: サイクル中にユニットが一時停止している。

黄色のライトバーが点滅: ボンネットを取り外し中。本機は、ボンネットが交換された5秒後に直前の機能を再開します (27ページを参照)。

黄色いライトバーがラウンドロビン状に点滅: 本機がCleanまたはEmptyサイクルを実行中です (16ページを参照)。

黄色いライトバーがピンポンパターンを表示します: アンチ・ピンチ・セーフティ機能 (28 ページ参照) により、サイクルが中断されます。

赤色のライトバー: 猫を検出し、待機時間のカウントダウンを開始します。

赤色のライトバーが点滅: 本機内で猫が30分以上連続で検知されました。

赤色のライトバーがピンポンパターンを表示します: ドロワーの中で動くものを検知しました (P27参照)。

紫色のライトバー: スリープモードが有効で、本機は指定されたスリープ期間中です。

白色のライトバーが瞬間的に点滅: 本機はコントロールパネルロックアウトモードです (25 ページ参照)。

赤色のライトバーと部分的な黄色が点滅します。 モーターが障害物やジャミングを検知しました。

赤色のライトバーと部分的な白色が点滅します。 グローブの位置を検出できません。本機は自動モードでの作動を続行します。カスタマーサービスまでご連絡ください。

Litter-Robotのセンサーと機能

猫センサー - カーテンセンサー

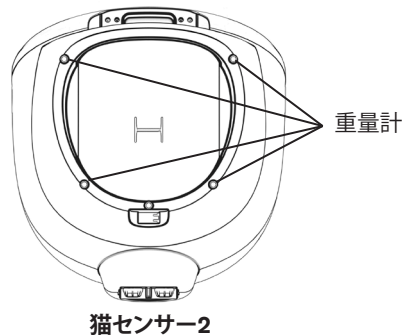
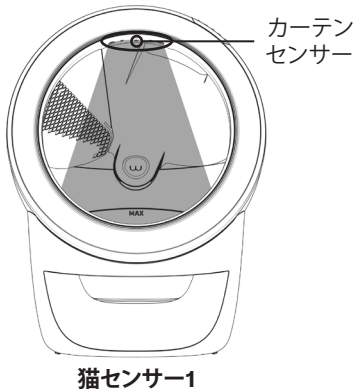
Litter-Robotは、本体開口部からグローブ内を下向きに監視するカーテンセンサーを搭載しており、Homeポジションで猫がグローブに出入りするのを検知します。サイクル中にカーテンセンサーが作動した場合、グローブは停止します。15秒以上他のモードが起動しない場合、グローブの回転が再開されます。本機がサイクルしない場合、ベゼルにカーテンセンサーに干渉するようなゴミ(猫の毛、ほこりなど)がないか確認してください。ベゼルとカーテンセンサーの孔を乾いた布で拭いてください。

猫センサー - 重量計

Litter-Robotは、本体の底面に重量センサーを搭載しています。Homeポジションにあるグローブ内の猫を検知して重量を測定します。サイクル中に重量の増加を検出した場合、グローブは停止します。増加分の重量がなくなってから15秒後にグローブの回転が再開されます。

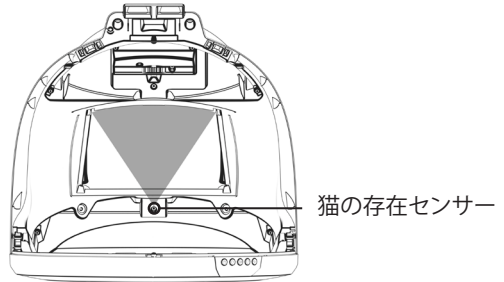
電源を入れるたび、またはクリーニングサイクルが完了するたびに、重量センサーは基準値をゼロに補正するため、本機の重量を測定することにご注意ください。重量計は、リセットボタンを押すことで、いつでも「ゼロ」にすることができます。

重量計に影響を与えるようなことをしたときは、リセットボタンを押し、重量計をゼロにします。「Reset」をしっかりと素早く押して、猫センサーがリセットされたことを示すブルーライトが点滅するのを確認してください。ボタンを押す際に本機にもたれかからないようにしてください。あなたの体重が計測の値に影響してしまいます。重量計の精度を上げるために、本機はしっかりと平らな場所に設置してください。カーペットの上に置くと、重量計の精度が落ちてしまいます。



猫の存在

Litter-Robotには、廃棄用ドロワーを監視する「モーションセンサー」が搭載されています。Homeポジションにいるときに、モーションセンサーが廃棄用ドロワー内の動きを検知すると、本機はグローブを回転させ、廃棄物ポートが廃棄用ドロワーから出る位置にします。

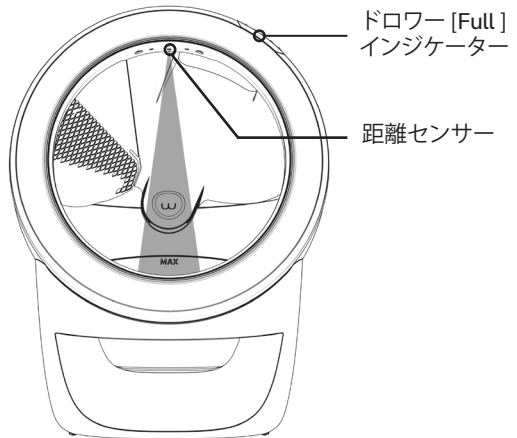


ドロワー [Full] インジケーター (FDI)

Litter-Robotには、本体上部から下を向いた距離センサーが搭載されており、廃棄用ドロワー内の☒廃棄物の量を検知するのに使用されます。各クリーンサイクル中、廃棄物ポートが廃棄用ドロワーの上を通過すると、DFI センサーが廃棄用ドロワー内の廃棄物の量を測定します。

廃棄用ドロワーが満杯になると、ライトバーが青色に点滅します。

- ❑ DFIの1回目と2回目の起動時には、ライトバーが青色に点滅し、猫センサーはアクティブのままです。
- ❑ DFI を3回目に起動すると、猫センサーは解除され、本機は自動的にサイクルしなくなります。



廃棄用ドロワーをチェックまたは空にした後、「Reset」を押してインジケーターをキャンセルおよび猫センサーをリセットします。リセット (Reset) をもう一度押して、重量計をゼロにします。なお、重量計はクリーンサイクルのたびに自動的にゼロになります。

リッターレベル

距離センサーは、本機内の廃棄物の量を測定するために使用されます。本機をWhiskerアプリ(26ページ参照)に接続すると、廃棄物の量が指定した閾値以上または以下となった場合に通知を送信できます。

自動ナイトライト

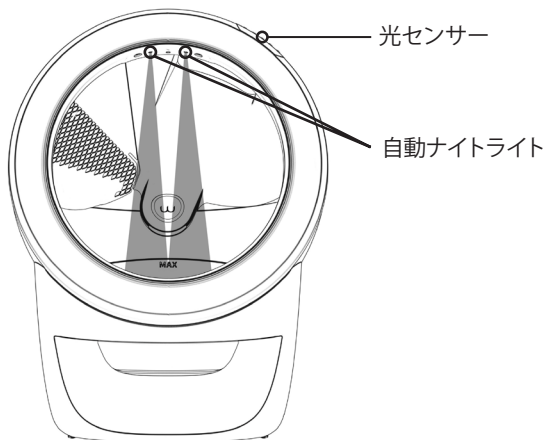
猫は一般に視力が良いですが、年齢や病気のため暗い場所での視力が落ちている場合があります。Litter-Robotは、自動ナイトライト機能が有効化された状態で出荷しています。操作パネルにある光センサーが低照度を感知すると、ナイトライトが自動的に点灯します。

Resetボタンを3秒間長押しすると、自動ナイトライト設定モードに移行・終了します。ライトバーは、現在の設定を表示します。Resetボタンを短く押すと、以下のように設定が切り替わります。ご希望の設定を選択した後、Resetボタンを3秒以上長押しすると、設定が保存されます。

常時OFF → 緑色のライトが1つ点灯

常時ON → 緑色のライトが2つ点灯

自動 → 緑色のライトが3つ点灯



スリープモード

このモードでは、本機が自動でサイクルしないよう、特定の期間に渡って猫センサーを無効にすることができます。スリープモードは、寝室など、1日のうち本機を運転させたくない時間がある場所で役立ちます。

本機は、デフォルトで8時間のスリープ期間がプログラムされています。このスリープモードは24時間毎に繰り返され、開始時間はモードで最初に設定された時間によって決まります。

サイクルボタンを3秒長押しすると、スリープモードになります。スリープモードは、ライトバーが紫色に点灯することで表示されます。スリープ中はライトバーが紫色のままとなり、スリープが解除されると青色に戻ります。

スリープ中は、本機を使用している猫の監視は行いますが、Cleanサイクルは行いません。スリープ期間が終了すると、本機の使用が検出されなかった場合、青色のライトバーで示されるReadyモードに移行し、残りの24時間、自動モードで動作します。

スリープ期間中の使用を検知した場合、スリープ期間終了後にクリーンサイクルが実行されます。グローブがHomeポジションに戻ると、ライトバーが青色に変わり、残りの24時間は自動モードで動作します。

サイクルボタンを3秒間長押しすると、スリープモードが解除され、ライトバーが紫色から青色に変わるか、スリープ状態でない場合はライトバーが一瞬紫に点滅して表示されます。

Whiskerアプリ(26ページを参照)では、カスタマイズ可能なスリープモード・プログラミング・オプションを提供しています。

待機時間の設定

待機時間とは、猫がグローブから出てからクリーンサイクルが開始するまでの経過時間のことをいいます。3分間、7分間、15分間、25分間、30分間に設定することができます。デフォルトの待機時間は7分間となっています。

においを最小限にすることが重要な場合、または犬などの他のペットが廃棄物にさらされる時間を最小限にしたい場合は、待機時間を短くしてください。ただし、待機時間を短くすると、凝集するための時間が足りなくて、クリーニングの効果が減少する場合があります。凝集に時間がかかる低品質のリッターを使用する際は、待機時間を長くしてください。

Emptyボタンを3秒間長押しすると、待機時間設定モードに移行または終了します。ライトバーには、現在の待機時間設定が表示されます。Emptyボタンを短く押しと、以下の設定に切り替わりません。希望の設定を選択した後、Emptyボタンを3秒間長押しすると、設定が保存されます。

3分 → 緑色のライトが1つ点灯

7分 → 緑色のライトが2つ点灯

15分 → 緑色のライトが3つ点灯

25分 → 緑色のライトが4つ点灯

30分 → 緑色のライトが5つ(すべて)点灯

コントロールパネルをロックする

コントロールパネルのロックは、望まない変更を防ぐためボタンを無効化します。Litter-Robotは通常、コントロールパネルがロックされている間、自動モードで作動します。

Cycle + Resetボタンを3秒以上長押しすると、コントロールパネルロックアウトモードの有効/無効を切り替えることができます。ライトバーが一時的に赤色に点滅し、ステータスの変更を確認することができます。

コントロールパネルロックアウトモードでは、いずれかのボタンを押すとライトバーが白色に点滅し、コントロールパネルがロックされたことを表示します。

コントロールパネルのロック中でも、Powerボタンを3秒間以上長押しすることで、本機の電源をオフにできます。

Whiskerアプリ

Whiskerアプリは、携帯電話からLitter-Robotの設定が可能なプログラミングオプションを提供します。Litter-Robotの監視と制御、通知の受信、週間および月間の統計を比較することで、猫の健康状態を把握することができます。

Whiskerアプリのインストール

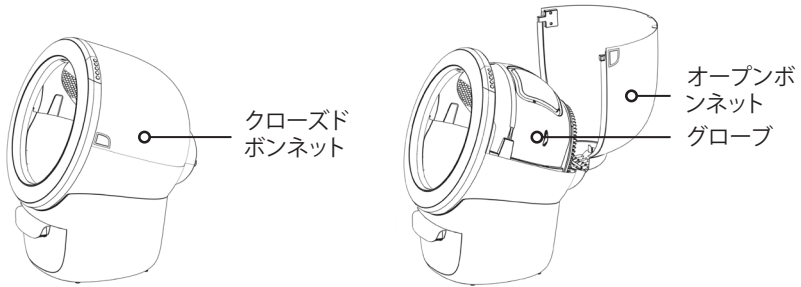
1. Powerボタンを押して、Litter-Robotの電源をONにします。
2. App StoreまたはGoogle PlayからWhiskerアプリをダウンロードします。
3. 携帯端末のBluetoothが有効になっていることを確認してください。QRコードを読み取ると、各アプリストアに移動します。
4. Litter-Robotはオンボーディングモード (WiFiライトが黄色に点滅) で出荷されます。
 - a. オンボーディングモードでない場合、Connectボタンを3秒間またはオンボーディングライトが黄色に点滅するまで押し続けてください。
5. アプリの指示に従って、本体背面のQRコードをスキャンしてください。
6. Litter-RobotがWiFiに正常に接続されると、コントロールパネルのライトバーのOnboardingランプが青色に点灯しているのが確認できます。
7. オンボーディングに失敗した場合、再試行またはキャンセルを促すメッセージが表示されず、再試行すると、処理をやり直します。
8. オンボードに成功したら、ホーム画面でユニットを選択し、Litter-Robotを表示し、任意の設定を変更することができます。



安全機能

ボンネット-フルカバレッジ

ボンネットはカバーとして機能し、グローブが回転する際、廃棄物ポートを保護します。ボンネットが設置されていない場合、グローブは回転しません。(20ページ「コントロールパネルー黄色のライトバーが点滅」を参照)



オムニセンス 猫検知システム

猫センサーは、光センサーと重量センサーの組み合わせで、サイクルの途中で猫が本体に入ろうとするのを検知します。サイクルの途中で猫が本機に入ろうとすると、グローブは停止し、ライトバーが赤色に表示され、サイクルが中断されたことを表示します。猫が検知されなくなってから15秒後まで、サイクルは再開されません。

また、廃棄用ドロワーを監視する「モーションセンサー」も搭載しています。グローブがHomeポジションにあるときに、廃棄用ドロワー内で動きが検知されると、本機は廃棄物ポートが廃棄用ドロワーから出るような位置にグローブを回転させます。

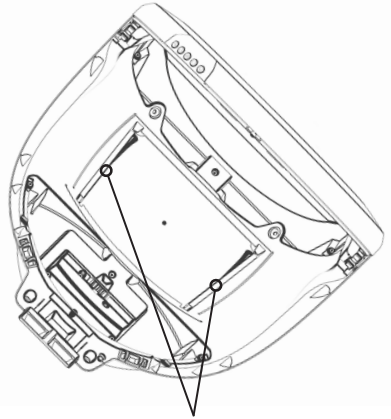
アンチピンチの安全機能

Litter-Robotは、猫が安全に使用できるように、Litter-Robotのシュートの両側にアンチ・ピンチ・センサーを搭載しています。これらのセンサーは、常にピンチの可能性を監視しています。

サイクル中、ピンチ状態の可能性が検知された場合、グローブは停止し、5秒間逆方向に稼働します。2秒間の休止の後、ユニットはサイクルの継続を試みます。

グローブが収納されている間、ライトバーは黄色のピンポンパターンを表示します。

メモ:デュアルピンチバーに余分なリッターがないことを確認します。



デュアルピンチバー

オーバーロードプロテクション

回転中にグローブが詰まったり、過負荷になった場合、モーターは5秒間停止し、後退します。2秒間の休止の後、ユニットはサイクルの継続を試みます。

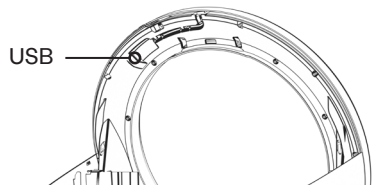
3回試行しても継続できない場合、グローブは停止します。ライトバーにはエラーコードが表示され、3つの赤色のランプと2つの黄色のランプが点滅します。

グローブが詰まりや過負荷の状態を経て、クリーンサイクルを完了することができれば、コントロールパネルはレディモード(青いライトバー)に戻ります。本機は依然として自動モードで作動します。

詰まりまたはオーバーロードエラーがコントロールパネルに表示されている場合、本機をオフにしてボンネットとグローブを外してください。ギア/モータの障害物を確認してください。本機を組み立て直し、適切なリッターのレベルを確認してください。本機の電源をオンにしてサイクルを開始してください。問題が継続する場合、カスタマーサービスまでご連絡ください。

USB電源ポート

Litter-Robotは、ベゼル裏側のボンネットの下に、USB電源ポートを装備しています。このポートは、外部USBデバイスに5V (1A) の電力を供給します。



オプションのアクセサリ:

バックアップ電池

Litter-Robotは、バックアップ電池を搭載することができます。12VDC、1.3Ampのバッテリーを使用することで、本機は停電中も稼働を継続することができます。Litter-Robotへの電源が遮断されると、ユニットは自動的にバックアップバッテリーモードに切り替わります。コントロールパネルのライトバーがすべて青色の状態から、PowerボタンのLEDが単独で青く点滅する状態に変化することで表示されます。

メモ:バックアップバッテリーモード中は、電力を節約するため、ナイトライト機能はオフにされず。ライトバーの表示輝度が50%低下し、ナイトライト機能が無効となり、節電モードになります。

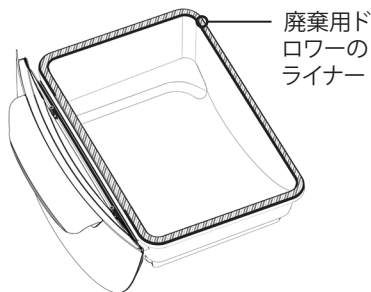
バッテリーポケットおよびコネクタは、ベースの底部にあります。バックアップバッテリーキットは、litter-robot.comから注文できます。メモ:litter-robot.com、whisker.com、当社認定の再販業者のウェブサイト以外で販売されているアクセサリの使用は、Whiskerは承認または推奨しません。Whisker社純正品以外のアクセサリを使用して発生した事故やケガについては、Whiskerは責任を負いません。Litter-Robotの改造や不正使用があった場合、保証を無効にすることがあります。

使用とケア

廃棄用ドロワーのシートの設置

Litter-Robotは、廃棄用ドロワーのシートが設置された状態で出荷されます。このシートは生物分解性で、Litter-Robot向けに製造されているものですが、「37-49リットル」のゴミ袋を使用することもできます。

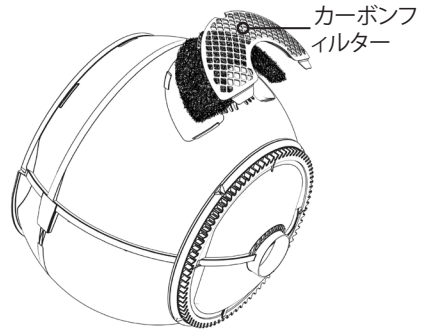
1. 新しい廃棄用ドロワーのライナーやバッグを開封します。
2. 廃棄用ドロワーのライナーまたは袋の端を、廃棄用ドロワーのフランジの上に取り付けます。
3. 袋の残りを廃棄用ドロワーの底に押し込み、廃棄用ドロワーをスライドさせて閉じます。



カーボンフィルター

Litter-Robotは、グローブの外底部に柔軟性のあるカーボンフィルターパッドを搭載しています。このフィルターは、廃棄用ドロワーの上に直接設置し、においを吸収します。カーボンフィルターは、クリーンサイクルを開始し、グローブがDumpの位置にあるときにボンネットを開けると、簡単に取り外し / 取り付けができます。カーボンフィルターは、必要に応じて交換してください。通常の使用では、フィルター1枚で約1か月使用できます。本機が稼働するのに、カーボンフィルターは必須ではありません。

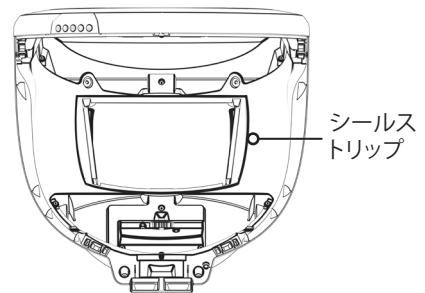
交換用カーボンフィルターやその他の消臭用アクセサリは、litter-robot.comで注文することができます。



ベースのシールストリップ

Litter-Robotは、ベースの上下にブラスタタイプのシールストリップを装備しています。このシールストリップは、廃棄用ドロワー内のにおいを封じ込めるのに役立ちます。

摩耗が生じる、またはめくれてきた場合、シールストリップを交換してください。交換の際にはみ出た端をカットすれば、長持ちさせることができます。ベースを清掃する際は濡らさないように注意してください。めくれ始めてしまう場合があります。交換用のベースのシールストリップは、Litter-Robot.comのサイトから注文することができます。



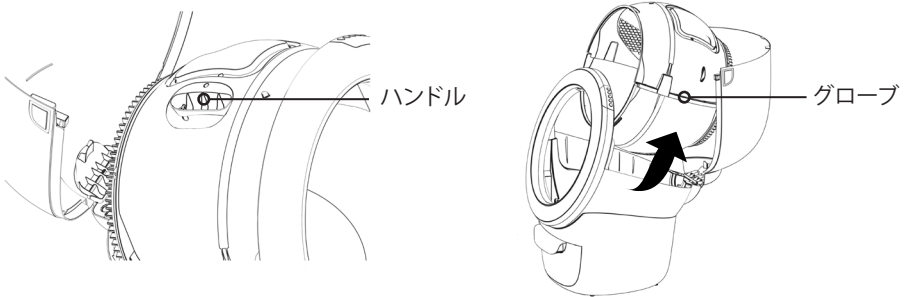
Litter-Robotを空にする

1. 時計周りにグローブをサイクルさせるには、Emptyボタンを押します。それにより、リッターが廃棄物ポート経由で廃棄用ドロワーへ落ち、簡単に廃棄することができます。
2. リッターがグローブ内に残っている場合、廃棄物ポートへリッターを掃き出してください。
3. グローブをHomeポジションに戻すには、いずれかのボタンを押してください。

重要事項—Emptyサイクル中に猫が入ることがないように、猫をしっかり監視してください。リッターが入っていない状態では、本機があなたの猫を検知しない可能性があります。

グローブのクリーニング

1. 時計周りにグローブをサイクルさせるには、Emptyボタンを押します。それにより、リッターが廃棄物ポート経由で廃棄用ドロワーへ落ち、簡単に廃棄することができます。残ったリッターは、廃棄物ポートへ掃き出してください。次に、CycleまたはResetを押して、グローブをHomeポジションに戻します。グローブから全てのリッターが取り除かれたことを確認してください。濡れたリッターは汚い粘土へと豹変します！
2. Litter-Robotの電源をオフにして、ユニットのプラグを抜いてください。
3. ボンネットを開ける：ボンネットの両脇にあるボタンを押しながら、ボンネットを持ち上げて回転させ、オープンポジションにします。
4. グローブを取り外します：ハンドルを使って、グローブをベースから持ち上げます。
5. カーボンフィルターを外します。
6. Litter-Robotクリーナーズプレーやワイプ、または水と中性石鹼でグローブを清掃します。石鹼と水で損傷する電子部品は、グローブ内にはありません。グローブが極度に汚れている場合、水のホースまたはパワーウォッシャーで水をかけて清掃することができます。
7. ベースへボンネットに取り付ける前に、グローブを完全に乾燥させてください(27ページ参照)。

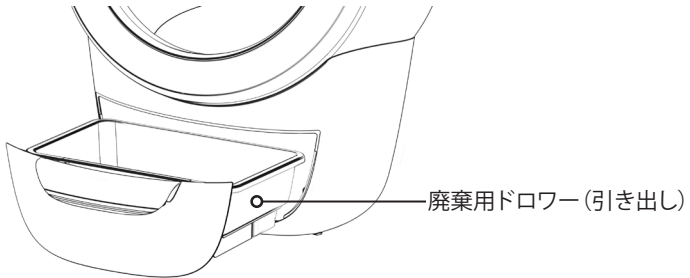


簡単な仕上げとして、グローブの中および上半分を(リッターを取り除かずに)拭くのに、使い捨てのタオルを使用することができます。また、手動でグローブを回転させ、リッターがスクリーンの後ろに来るようにすれば、フレキシブル・グローブ・ライナーの表面を、スポット清掃することができます。乾燥がすぐに終わるため、Litter-Robotの使用もすぐに可能です。

Litter-Robotのクリーナーズプレーとワイプは、litter-robot.comで注文することができます。

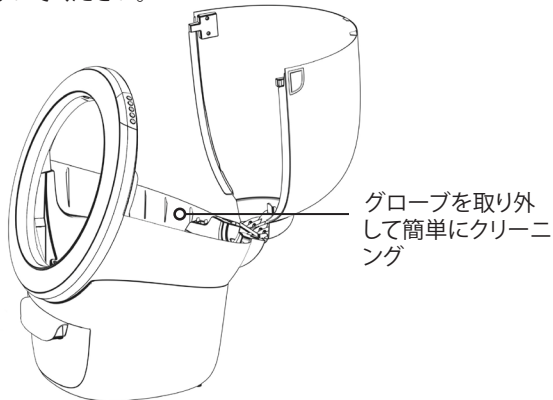
廃棄用ドロワーのクリーニング

1. 廃棄用ドロワーを引き出します。
2. ドロワーの中には、Litter-Robotのクリーナーズプレーやウェットティッシュ、または石鹸と水で清掃してください。



ベースのクリーニング

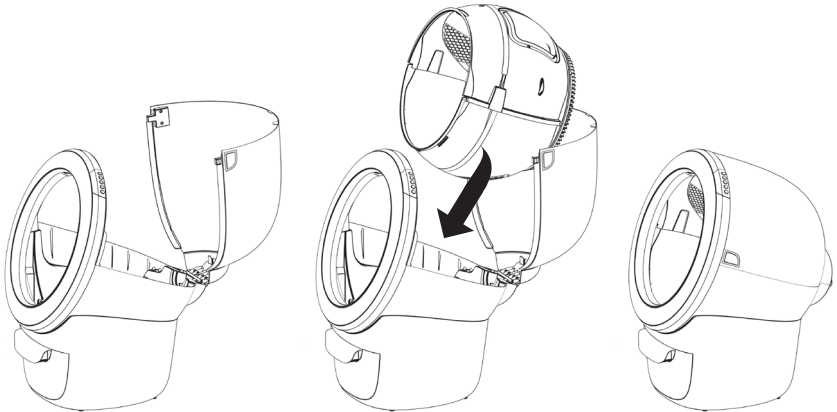
1. ベースやコントロールパネルは、絶対に水没させたり、スプレーしたり、水に浸したりしないでください。ベースとコントロールパネルには、センサーや電子部品が搭載されています。
2. ベースの表面を消毒液で湿らせた布で拭いてください。スプレーを使用する場合、ベースから離して布または紙タオルにスプレーして、消毒液が電子部品にかからないようにしてください。
3. 漂白剤を使用しないでください。



グローブの再取付け

1. グローブをベース上のおおよそHomeポジションに置きます。グローブのハンドルを持ち、ベース部にスライドさせて戻すと、ほぼホームポジションになります。
2. グローブの後部が後部ベアリングポケットと同一平面上にあり、ギアトラックがモーターピニオンに噛み合っていることを確認します。
3. グローブを包むように側面に軽い圧力をかけながら、ボンネットを下方に回転させます。ボンネットを適切に配置することで、ベースの各スロットにきちんとはまることを助けます。ボンネットを上から押し下げ、ボンネットが所定の位置にラッチされていることを確認し、ボンネットがしっかりと固定されていることを確かめます。

メモ: ボンネットが設置されていない状態では、本機は稼働しません。



よくある質問

猫はグローブの中に入ってくれるでしょうか？

猫は一般に好奇心があり、新しいものを調べるはずですが、カバー付きの猫用トイレにすでに慣れている猫の場合、すぐにLitter-Robotを調べるでしょう。

Litter-Robotは、以前の猫用トイレと同じ場所に設置することを推奨します。一時的に以前の猫用トイレを、Litter-Robotの近くに残しておいても良いでしょう。以前の猫用トイレからリッターをひとつくいて、Litter-Robot内のリッターに加えてください。においに馴染みがあるので、猫は調べてみたくなるでしょう。

猫が中に入って見て、自分の足にリッターの感触を感じたとき、彼はどうすればいいか分かっています。

子猫もLitter-Robotを使用できますか？

1.36 kg以下の猫または子猫による、そばに人がいない状態での自動モードによるLitter-Robotの使用はお勧めいたしません。猫が軽量で小さいため、猫センサーシステムが作動しない場合があります。自動モードでLitter-Robotを使用するにあたって、猫は少なくとも1.36 kg以上の体重である必要があります。

Litter-Robotの電源をオフにして、「半自動」モードで作動させることをお勧めします。猫がLitter-Robotを使用したことを確認できたら、電源をオンにしてください。Litter-Robotは自動でクリーンサイクルを実施します。終わったら(約2分半かかります)、電源をオフにしてください。こうすることで、あなたの子猫はLitter-Robotに慣れ、安全も保たれます。くさい猫の砂をすくう必要はもうありません。

注意事項—ご家庭のすべての猫が猫センサーをアクティベートさせるのに十分な体重であることがはっきりするまで、Litter-Robotの電源をオフのままにして、手動でクリーンサイクルを開始するようにしてください。

猫がLitter-Robotを使用しようとしません。どうすればよいですか？

お客様またはペットがLitter-Robotにご満足いただけない場合、90日以内に返品してください。購入価格の全額を返金いたします。返品の際の送料はお客様負担となることをご承知おきください。返品確認(RMA)番号をリクエストするには、カスタマーサービスまでご連絡ください。RMA番号がない場合、当社では返品を受け付けることができません。

グローブがサイクル中に、猫がグローブに入ろうとしたらどうなりますか？

Litter-Robotの猫感知システムは、猫がグローブに入る前に感知し、モーターが停止します。猫がグローブから出ると、Litter-Robotは15秒間待機した後、サイクルを再開しようと試みます。27ページの「オムニセンス猫検知システム」をご覧ください。

グローブ内に熊手のようなものやワイヤーはありますか？

いいえ、グローブ内にあなたの猫を傷つけたり害を与えるような熊手のたぐいやワイヤーは一切ありません。Litter-Robotはペットの安全を第一に設計されています。

電子機器や電源は猫にとって危険ですか？

いいえ、グローブ内に電子機器はありません。Litter-Robotは、目覚ましラジオやスマートフォン充電器などのご家庭にあるものと非常によく似たアダプタを使用し、15ボルトDCの安全な電力で稼働します。

猫が中にいる状態でグローブが回転することはありますか？

いいえ、猫が中にいる状態でグローブが回転することはありません。猫がグローブに入ると、猫センサーが作動し、7分間のあいだクリーンサイクルを開始するのを防ぐため、カウントダウンタイマーがリセットされます。

グローブが詰まった場合どうなりますか？

グローブが詰まった場合、または過負荷状態が発生した場合、本機は(当社の)オーバーロード保護機能により、異常を検知します(28ページをご参照ください)。さらに、Litter-Robotはアンチピンチの安全機能を搭載しています(28ページ参照)

Litter-Robotの使用において、特殊なフィルターは必要ですか？

いいえ、Litter-Robotは凝集性リッターのみを必要とします。高品質でクレイベースの凝集性リッターの使用を推奨します。トウモロコシや小麦などを原料とする軽量なリッターを使用すると、スクリーンを通過できない場合があります。スクリーンを通過する限り、シリカゲルを原料とするのビーズタイプのリッターおよびクリスタルタイプのリッターも、Litter-Robotで使用することができます。

Litter-Robotで使用できないリッターは、吸収性の強いリッター、非凝集性リッター、凝集性の弱いリッター、新聞紙ベースのリッター、吸収性の木質ペレットリッターです。

Litter-Robotにはどれぐらいの量のリッターを入れるべきでしょうか？

黒いゴムライナー上の高くなった [Fill] ラインまで、約3.6-4.5kgのリッターを平らにならした状態でグローブを満たしてください。グローブに入っているリッターが多すぎる場合、最初の数サイクルのうちに廃棄用ドロワーへと排出されます。毎回のサイクルにおいて廃棄物の塊は除かれるので、グローブに過剰なリッターを入れる必要はありません。

リッターの追加はどれぐらいの頻度で行う必要がありますか？

「ふるいシステム」は排泄物の塊だけを除去するため、Litter-Robotは非常に効率的にリッターを使用します。廃棄用ドロワーを空にする際、高くなった(グローブの黒いゴムライナー上の) [Fill] ラインに対してリッターの水準を確認することを推奨いたします。猫が1匹の場合は週に1回、複数の場合は週2回が目安となります。グローブにリッターを入れすぎないように注意してください。

グローブの回転およびリッターの移動で、ほこりはトラブルはおきませんか？

Litter-Robotは低塵設計のスクリーンを搭載しており、清掃サイクル中にリッターがスクリーンを通過するため、ほこりのトラブルは最小限です。

廃棄用ドロワーを空にするのは、どれぐらいの頻度で行う必要がありますか？

ご家庭の猫の数と体重によって変わってきます。平均サイズの猫2匹の場合、週2回が一般的です。猫1匹の場合、通常は週1回で十分です。

グローブ内のクリーニングは、どれぐらいの頻度で行う必要がありますか？

お客様の方針とご家庭の猫の振舞いによります。1か月から3か月に一度、グローブ内のクリーニングを実施することをお勧めします。29ページの『使用とケア』を参照してください。

Litter-Robotの外部はどのようにクリーニングしたらよいですか？

Litter-Robot外部のクリーニングは簡単です。まず、グローブ、ボンネット、廃棄用ドロワーを取り外し、Litter-Robotクリーナーまたは中性洗剤で拭き取るか、屋外に持ち出してガーデンホースで清掃してください。全ての表面はきれいに拭くことができますが、浸水させないようにしてください。

注意事項—Litter-Robotのベースおよびボンネットは、電子部品を含むので、浸水させないようにしてください。29ページの『使用とケア』を参照してください。

90日間の家庭内でのお試し

90日間のお試し期間がありますので、安心してご購入ください。お客様や猫がLitter-Robotにご満足いただけない場合、ご返品いただくと、購入代金を返金いたします。返品送料のみ、ご負担お願いします。

Whisker社以外からLitter-Robotを購入された場合は、購入先とご相談の上、購入先の返品ポリシーに従って返品を行ってください。

Whiskerのカスタマーエクスペリエンス

ご質問やお困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。ご利用開始やトラブルシューティングについては、サポートサイトをご覧ください。

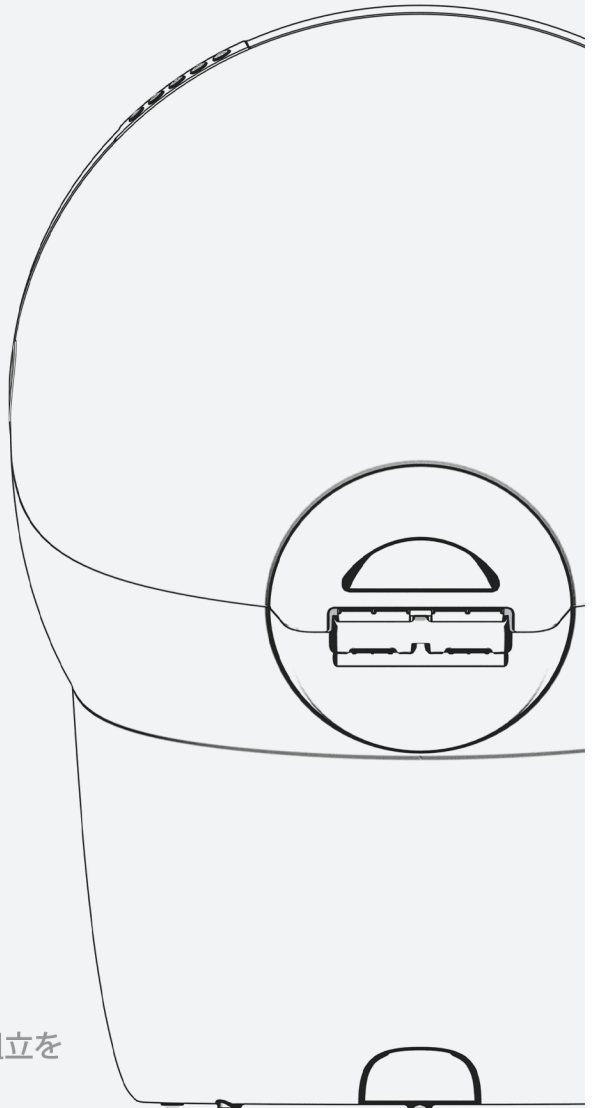
オンライントラブルシューティング

whiskersupport.com

litter·robot® 4

by whisker

Version: LR4-8008-0b



1080 W Entrance Dr
Auburn Hills MI 48326
Whisker.com

本製品は**米国**で設計・組立を
行っております